

東区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
第18回東区民まつり事業		東区ふれあい事業実行委員会 東区民まつり運営委員会			
事業目的	事業効果	活動指標	R3	R4	R5
区民間のコミュニティの輪を広げることにより、明るく住みよい安全なまちづくりの推進の一助とし、区民の親睦と連帯の高揚を図る。	新型コロナウイルスの影響長期化により低下した、地域の活気を回復させ、区民の親睦と連帯意識の高揚や醸成、区民の防災意識の高揚と地域防災力の向上を図ることができた。	来場者数	無観客	新型コロナウイルスの影響により中止	21,000人
		配信映像視聴回数	4,242回		
①妥当性		②協働の視点		③インパクト	
○	東区で開催する最大規模のイベントであり、まつりを通して区民の親睦と連帯の高揚や、安全安心、また地域の魅力等を再考する貴重な機会となることから、今後も継続して実施する妥当性が高い事業であった。	◎	コロナ禍における開催内容の検討及び工夫が必要となり、企画段階から地域の方を中心に構成される運営委員会や実行委員会と事務局を担う行政との間で協議を重ねることにより、より一層活発となり、区民と行政が共に進める事業として評価できる。	○	新型コロナウイルス5類移行後、最初の週末に開催されたイベントとなり、雨天であったが多くの方に来場いただいた。また、開催内容を後日ご覧いただけるよう動画配信も実施した。
④効率性		○	各校区には、東区民まつりの費用面での負担だけでなく、企画の考案、準備まで携わっていた。		
⑤自立発展性		総合評価			
△	区民が企画の考案から当日の運営に至るまで大きな役割を担う一方、各種団体との調整や広報等については広く周知を図る必要性があり、行政において担う方が適切であることから協働によることが望ましい。	○	今年度も区民の方々にまつりの企画段階から携わって頂いた。コロナ禍で中止や内容変更した区民まつりから従来の開催内容を取り戻しつつも、ステージの廃止や新たに多彩なアクティビティや防災の体験メニューなどを採り入れ、新しい区民まつりのかたちで実施することができた。雨天により開催内容が変更となったにも関わらず、21,000人の方々にご来場いただき成功裏に終えることができた。また、後日開催内容の動画配信を行い、広く内容を知ることができるよう努めた。		
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	今回の区民まつりは、4年ぶりに従来の開催方法での実施となり、多くの方にご来場いただけたが、今後も天候に応じた催しや出展内容を検討するなど、さらに来場者から好評をいただけるよう、東区民まつり企画委員会委員の方々を中心に企画・立案を行う必要がある。 また、東区民まつりの開催についての問い合わせも寄せられていることから、区民の関心も高く定着したイベントであると考えられる一方、従来通りの出展内容ではまつり会場一杯に各種団体等を配置しているため、今後は会場のキャパシティ等も鑑みながら、いかに区民のニーズにあったイベントとするかが課題となってくる。				